

Ⅲ 事業実施結果

1 高校生たちのボランティア・おもてなし活動の輪の拡充

実施にあたり、学校関係者や大学生と協議し、令和元年10月に高校生たちの利用率が高いSNSであるLINEを活用して「おもてなし隊公式アカウント」である「おもてなし隊広場」を立ち上げ、高校生たちがおもてなし活動についての提案や情報の共有をする場を創り出すこととした。

(1) 「おもてなし隊広場」への参加者づくり

県内の高等学校を通じて「おもてなし隊広場」への参加者を募集した。

令和2年3月10日現在、関係者を除く友だち登録者は31人である。(その他関係者13人)

(2) おもてなし隊広場の主な内容

ア おもてなし活動の情報提供

おもてなし隊広場では、令和元年11月以降に予定していた成田での「日本文化体験」(令和元年11月23日)、「ボランティアトライアル2019」(令和元年12月14日)及び「フォーラム2020 ～わたしたちのおもてなし～」(令和2年2月15日)を中心に事業の紹介と参加の呼びかけを行った。

この他には、千葉県の高中生向けボランティア情報の紹介及び「パラコネクト」の紹介などを行った。

イ アンケートの実施

広場登録者には、簡単なアンケートを実施し、32人から回答をいただいた。その結果については32頁に記載の通りである。

ウ おもてなし隊の活動への参加の案内

広場登録者に2020ちばおもてなし隊の活動にスタッフとして参加することを呼び掛けた。その結果については以下の通りであった。

ア) 日本文化体験事業(成田市内)

広場登録者から4人の応募(1人は当日体調不良で欠席のため、3人参加)があり、日本文化体験「思い出のコマ」づくりで、他の大学生、高校生と共に活動に参加した。

イ) フォーラム2020 ～わたしたちのおもてなし～(千葉市内)

広場登録者から2人の応募があり、当日は、受付作業や、グループワークでのまとめ等を大学生と共にを行った。この他、フォーラムでは広場登録者の一人が自ら行っているボランティア活動の紹介を行った。

エ 広場登録者からの活動提案

広場登録者に、フォーラムで大学生やほかの高校生たちと話し合ってみたいことなどを募集した。この結果、5件の提案があり、フォーラムの中でこれらの提案に関する内容を取り上げた。

2 高校生・大学生の提案事項の実現

これまでの2020ちばおもてなし隊の活動を通じて高校生、大学生から提案のあったアイデアの実現を目指した。

(1) バリアフリーマップの作成と普及

平成29年度に行った「街の魅力・バリア点検隊」で、中心的な役割を果たしてきた昭和学院秀英中学校・高等学校の生徒たちが、その後、調査をもとに検討を重ね、バリアフリーマップ作りに取り組んできた。

本年度は、生徒たちの夏休み期間中である8月に3回、海浜幕張駅周辺を中心に29年度に行った調査箇所

等の事後調査を行うとともに、バリアフリーマップ作成に必要なデータ集めを実施した。

「フォーラム2020」では、令和2年5月の完成を予定しているマップの試作品を用いて、これまでの活動を報告した。

(2) 太巻き祭り寿司によるおもてなし

この取組みは、平成30年度に行った「おもてなしLABO」の参加者（当時中学生）からの提案事業である。その後、昨年度開催のフォーラムでの提案や高校生、大学生を交えた検討会、試行会などを経て令和元年12月14日に開催した「ボランティアトライアル2019」の会場で留学生や千葉在住の外国人を含む参加者を対象に実践した。

(3) 成田空港での日本文化体験によるおもてなし

この取組みは、平成30年度の2020ちばおもてなし隊の活動の中で「空港での歓迎イベントの研究と提言」として位置づけ、大学生が中心になって調査、検討をしたものを踏まえて実施したものである。

昨年度は、平成30年8月に成田国際空港の現地調査を大学生が実施、その結果を平成30年11月の「おもてなしLABO」で発表し、成田空港に訪れる外国人に日本文化でおもてなしを行う旨の提案を行った。

提案後、具体的な内容について、中学生、高校生と共に検討を行い、「外国人と折り紙を一緒に折り、会話をしながら日本の思い出を作ってもらおう」というコンセプトで実施することとした。

実施場所として提案した成田国際空港については、諸事情があり使用できないこととなったため、成田山の参道にある成田市の観光施設「成田観光館」で、成田山を訪れる外国人観光客を対象におもてなしを実施することとした。（本事業の企画書は22頁に掲載）

取組みの経過などは以下の通りであった。

令和元年8月28日

場所：生涯学習応援団ちば事務所

概要：中学生・高校生・大学生を含め8人が参加、前年度から検討してきた日本文化体験の具体的な内容を協議

令和元年9月16日

場所：生涯学習応援団ちば事務所

概要：成田市内で開催することとなった日本文化体験の企画案を協議

令和元年11月21日

場所：生涯学習応援団ちば事務所

概要：中学生・高校生・大学生6人が参加し、11月23日に行う日本文化体験用のボードづくりなどを実施

令和元年11月23日

場所：成田観光館

時間：10時～15時

概要：日本文化体験「思い出のコマ」づくりを実施

中学生・高校生・大学生の参加者 11人

中学生・高校生在籍校 昭和秀英中学・高校、聖徳大附属女子高校、佐原高校、富里高校
日出学園高校

外国人ゲスト 15人

中学生・高校生が事前に作成した企画書に基づき、外国人ゲストとともに折り紙を使用したコマづくりを行うほか、書道体験などでおもてなしをした。

(4)「やさしい日本語でコミュニケーション」及び「地震パンフレット」の活用

ア やさしい日本語でコミュニケーション

この事業は、県立松尾高等学校スーパー・グローバル・ハイスクールに指定されていることを踏まえ、課題研究として生徒たちが取り組んできたものである。

昨年度は、生徒たちが工夫をして、外国人が生活などに必要フレーズ40を選び、カードを作成した。これを活用して世界女子ソフトボール選手権大会で日本を訪れたイギリスチームや中国からの修学旅行生と交流を進めてきた。活動の中で、カード式だと数が多くて探すのが大変なこと、紙なので濡れると困ることなどの改善点を挙げていた。

これらの点を踏まえ、本年度は、生徒たちがスマホのアプリの開発を行った。しかし、アプリの公開に際し、手続き上の問題点等があり、広く普及するまでには至らなかった。

「フォーラム2020」で令和2年度はアプリの代わりに紙のシート方式で取り組むとの報告が行われた。

イ 地震パンフレットの活用

今年度は、特に新しい取り組みは行われなかったが、昨年度高校生たちのアイディアにより作成した地震パンフレット（英語版）を、生涯学習応援団ちばにおいて関係者やイベント参加者に配布紹介するなどの方法で活用を図った。

3 おもてなし活動の実践体験機会の提供

ラグビーワールドカップの開催年であること及びオリンピック・パラリンピック開催の前年であることを踏まえたおもてなし活動の実践体験機会を提供できるよう努めることとした。

(1) ボランティアトライアル2019の開催

【概要】

東京2020オリンピック・パラリンピックを控え、ボランティアやおもてなし活動に意欲を示す高校生・大学生たちが、千葉で学ぶ留学生や千葉で生活する外国人親子等に参加いただき、千葉の良さ、日本の良さを伝える活動やパラリンピック競技種目を共に体験することを通じて、相互交流を図ることを目指して実施した。これにより参加する高校生・大学生たちに、ボランティア活動の実践体験機会を提供し、オリンピック・パラリンピックでのボランティア活動、おもてなし活動への参加に向けた機運の醸成を図ることとした。この事業の特徴としては、事業実施に当たっては実行委員会方式を採用し、また、事業の企画運営に多くの大学生が参画したことがあげられる。

実施にあたり「ボランティアトライアル2019実行委員会」（委員長：明石要一生涯学習応援団ちば理事長）を立ち上げ、構成団体として生涯学習応援団ちば、神田外語大学（ボランティアセンター）、敬愛大学（地域連携センター）、学生団体おりがみ及び千葉県スポーツコンシェルジュが参加した。

また、体験事業の企画・実施について神田外語大学豊田ゼミ、敬愛大学有志及び学生団体おりがみの学生たちが力を合わせて参画するとともに、当日の運営（司会進行、会場案内、グループリーダーなど）について神田外語大学豊田ゼミの学生が担当した。

【開催日時・会場・主催者等】

開催日時	令和元年12月14日（土） 9時30分～16時
会場	神田外語大学 2号館301教室、8号館1階、アジアンレストラン「食神」
主催	千葉県
共催	神田外語大学・敬愛大学
主管	特定非営利活動法人生涯学習応援団ちば

運営 ボランティアトライアル2019実行委員会

生涯学習応援団ちば・神田外語大学・敬愛大学・学生団体おりがみ
千葉県スポーツコンシェルジュ

企画協力 神田外語大学豊田ゼミ学生、学生団体おりがみ、敬愛大学学生有志

後援 ちば産学官連携プラットフォーム、ちば国際コンベンションビューロー

【プログラム】

..... 全体の司会・進行：神田外語大学豊田ゼミ学生

ア 開会行事

主催者及び実行委員会の紹介並びにプログラムの概要について説明

イ 講演「ボランティアから見たオリンピック・パラリンピック」

講師：西川千春氏

公益財団法人笹川スポーツ財団特別研究員
東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会ボランティア検討委員

ロンドン、ソチ、リオオリンピックで言語サービスボランティアとして参加した経験から、スポーツイベントにボランティアとしてかかわる醍醐味などについてお話しいただいた。

ウ グループワーク・ランチ

留学生を含む参加者が8つのグループに分かれ、自己紹介やオリンピック・パラリンピックにまつわるジェスチャーゲームなどで交流

ランチは会場となった「食神」の特色を生かした食事が提供

エ レッツ体験

高校生・大学生などが運営する日本文化を中心とした体験コーナー及びパラスポーツ体験コーナーを、グループごとに体験して回り、参加者同士の交流を深めるとともに、おもてなし・ボランティアの実践体験を積んだ

体験コーナーでは、参加者の募集時に高校生に体験スタッフとしての参加希望をとったところ、6人の高校生の皆さんからスタッフとしての希望があり、各コーナーに参加して頂いた

体験内容

- ポッチャ（敬愛大学有志）
- ゴールボール（学生団体おりがみ、高校生）
- おりがみ&箸置きづくり（プロジェクト結、高校生）
- 太巻き祭り寿司体験（学生団体おりがみ）
- ペン習字・年賀状作り（神田外語大学豊田ゼミ学生）
- 国旗かるた遊び（神田外語大学豊田ゼミ学生）
- 福笑い遊び（神田外語大学豊田ゼミ学生）
- #ちょいボラ体験コーナー（高校生）

*（）内は担当

オ クロージングイベント1

司会者によるインタビュー形式でグループごとに感想や今後への抱負の発表し、留学生代表からも感想を述べた

カ クロージングイベント2 スポーツ講談

出演：講談師 神田山緑氏、一龍齋貞奈氏

日本の古典芸能である講談で東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた雰囲気の高まりを図った

初めに、神田山緑さんから講談戦隊ゴリンジャーの話しとオリパラクイズ、続いて、一龍齋貞奈さんが「扇的」、神田山緑さんが「パラリンピックのレジェンド河合純一物語」を披露

【参加者】

参加総数 131人（内訳）高校生 68人 大学生 25人 留学生・千葉在外国人 18人 その他 20人
参加した高校生の在籍校数 18校

東葉高校、八千代松陰高校、浦安高校、船橋東高校、柏の葉高校、松戸高校、専大松戸高校
中央学院高校、富里高校、大多喜高校、志学館高等部、安房高校、千葉北高校、柏井高校、稲毛高校
千葉明德高校、昭和秀英中学・高校、渋谷学園幕張高校（以上順不同）

【アンケート結果】

参加した高校生68人を対象にアンケート調査を実施

回答数 31人（45.6%）

ボランティアトライアル全体の感想について29人が「満足」、「まずまず満足」と回答

（アンケート結果の詳細、参加者の感想などは28・29頁に掲載）

(2) おもてなし活動の提案と実践

2019年度に千葉県内で開催されるスポーツイベントなどの機会を利用して、高校生たちにおもてなし活動の実践体験の場を提供することを目指した。

ラグビーワールドカップのキャンプ地である浦安市や市原市に対し、おもてなし活動の実施について協議を行ったが、日程等の都合により実施することが出来なかった。また、その他のスポーツイベントにおいても、同種の理由により実施することはできなかった。

しかし、スポーツイベント以外の国際会議やその他の機会を利用しておもてなし活動の実践体験を行った。その概要は以下の通りである。

令和元年9月16日

場所：千葉大学西千葉キャンパス

概要：千葉大学で開かれた宇宙関係の学会終了後のレセプションの場で、学生団体おりがみが学会参加者に箸置きプレゼント、折り紙のコマづくりなどのおもてなし活動を実施
箸置きプレゼントについてはプロジェクト結と事前に協議の上、実施した
夕方からの飲食を伴う会合でのおもてなし活動であったため、中学生・高校生は不参加

令和元年11月23日

場所：成田観光館

概要：日本文化体験「思い出のコマ」づくり

詳細は5頁の「(3) 成田空港での日本文化体験によるおもてなし」に記載
(本事業の企画書については報告書22頁に記載)

令和元年12月14日

場所：神田外語大学

概要：ボランティアトライアル2019 体験コーナー

詳細は6頁の「(1) ボランティアトライアルの開催」に記載

おもてなし活動に参加者は、中学生・高校生が9名、大学生が23人

4 「パラコネクト」事業の普及促進

本事業の推進のため、事業を提案している学生団体おりがみと特別支援教育経験者との意見交換を行った。

その結果を踏まえ、昨年度から学生団体おりがみが交流を続けている八日市場特別支援学校との交流を引き続き推進した。

また、パラコネクトへ参加者の輪を広げるため、特別支援教育関係者のご協力を頂き、新たな学校への接触なども始めた。

さらに、高校生などにパラコネクト事業の趣旨を理解頂くため、おもてなし隊広場での周知活動や、「フォーラム2020」での取組み紹介を行った。

今年度の経過等は以下の通りであった。

令和元年9月16日

場所：生涯学習応援団ちば事務所

概要：学生団体おりがみの「パラコネクト」担当者と特別支援教育経験者が意見交換
特別支援教育経験者から今後の進め方などについてアドバイス

令和元年9月23日

場所：八日市場特別支援学校

概要：「パラコネクト運動会」として大学生8人と同校高等部生徒が競技、踊りなどで交流

令和元年12月3日及び11日

場所：八日市場特別支援学校

概要：「パラコネクト交流会」として大学生延べ5人と同校高等部生徒が交流

令和元年12月27日

場所：千葉盲学校

概要：同校と今後パラコネクトの交流を進めるための打合せを実施

令和2年1月

概要：2020ちばおもてなし隊の公式アカウント「おもてなし隊広場」でパラコネクトを紹介

令和2年2月15日

場所：千葉県教育会館

概要：「フォーラム2020」での取組み紹介の一つとして「パラコネクト」を紹介

5 フォーラムの開催

【概要】

2020年オリンピック・パラリンピックへの関り（おもてなし、ボランティア）を考え、更に2020年後のボランティアに向けた取り組み方を考えるきっかけづくりとするため、フォーラムを開催した。

開催にあたって、フォーラムでは以下のことに留意した。

- (1) これまでのおもてなし活動などの成果・経験を参加者全体で共有し、2020年のおもてなし活動・ボランティア活動への参加のきっかけを提供し、2020年以後の取組みにも目を向けることができるよう配慮する
- (2) オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ予定自治体・ホストタウン登録自治体の関係者に高校生・大学生の活動・意欲などを理解いただく
- (3) 高校生・大学生同士や、高校生・大学生と成人参加者・自治体関係者等との交流の場とする
- (4) フォーラム運営に高校生・大学生が関わるよう努める

【プログラム】

..... 全体の司会・進行：日本大学学生 木戸さとみさん

(1) 開会行事

主催者あいさつ 千葉県環境生活部 県民生活・文化課

(2) プログラム1 事例発表

高校生、大学生の皆さんがこれまで取組んできたボランティア活動・おもてなし活動を紹介し、参加者の皆さんで情報を共有した。

事例発表内容と発表者の皆さんは以下の通りであった

ア 日本文化でおもてなし

箸置きプレゼント インタビュアーの平野さんより紹介

思い出のコマづくり 昭和学院秀英高等学校 根本大雅さん

太巻き祭り寿司でおもてなし 昭和学院秀英高等学校 遠藤なゆさん

#ちょいボラ 千葉市立稲毛高等学校 宮里優衣さん

全体インタビュー：平野華奈子さん（千葉大学3年生・学生団体おりがみ教育チーム）

イ やさしい日本語でコミュニケーション

千葉県立松尾高等学校 田井中善夫さん

ウ 成田空港周辺都市ボランティアガイドに参加して

千葉県立富里高等学校 廣瀬大地さん

エ バリアフリーマップ作りの取組み

昭和学院秀英中学校・高等学校生徒会の皆さん

(3) プログラム2 取組み事例紹介

..... 進行：千葉県スポーツコンシェルジュマネージャー 大久保利宏さん

今年のオリンピック・パラリンピックで、参加国の事前キャンプ地となり、ホストタウン登録をされている浦安市、市原市から取組みの紹介をしていただいた。

また、学生団体おりがみから、団体紹介及び「パラコネク事業」の紹介があった。

紹介していただいた皆さんは以下の通りであった。

浦安市2020東京オリンピック・パラリンピック推進室 青木 玄さん

市原市スポーツ国際交流部スポーツ振興課

オリンピック・パラリンピック推進室 佐久間政仁さん

学生団体おりがみ 福祉チーム 岩淵汐音さん

教育チーム 河野 葵さん

(4) プログラム3 グループワーク

学生団体おりがみがグループワークの実施計画から当日の進行までを行った。

フォーラムに参加した中学生・高校生・大学生が5つのグループに分かれ、オリンピック・パラリンピック開催時にどのような外国人が日本に来て、その人たちに中学生・高校生などができるおもてなしをテーマにグループで検討した。

結果について「企画書」にまとめ、グループごとに発表した。なお、各グループの企画書は23頁以降に掲載した。

(5) プログラム4 全体交流会

..... 進行：千葉県スポーツコンシェルジュマネージャー 大久保利宏さん

交流会では、このイベントに参加した高校生、市原市のボランティアグループ「いちほら折り紙フレンドリークラブ」代表の方、浦安市、市原市、千葉県からそれぞれ発言があった。

最後に、進行役の大久保さんからグループワークでの発表についての感想・コメントを頂き、フォーラムは終了した。

【参加者】

参加総数 45人（内訳）中学生 4人 高校生 14人 大学生 12人 その他 15人

参加した高校生の在籍校 7校

昭和学院秀英中学校・高等学校、幕張総合高等学校、稲毛高等学校、東葉高等学校

日体大柏高等学校、佐原高等学校、富里高等学校

【アンケート結果】

参加者（中学生・高校生・大学生及び一般参加者）36人を対象にアンケート調査を実施

回答数 17人（47.2%）

フォーラム2020全体の感想について17人全員が「満足」、「まずまず満足」と回答

（アンケート結果の詳細、参加者の感想などは30・31頁に掲載）